



1\_夕暮れ時の上芳我邸。格子戸がやさしく浮かび上がる 2\_和室の明かり

3年余りにわたる保存修理工事を終えて24年4月に全面開館した木蟬資料館「上芳我邸」が、このほど(社)照明学会の「平成24年度照明普及賞」を受賞しました。

同学会は、照明技術の発展・普及のために各種研究などを行っており、昭和32年に照明普及賞を創設。毎年、その年に竣工した優れた照明施設を表彰しています。

### これからの100年を照らす 上芳我邸が照明普及賞を受賞

上芳我邸は明治27年の建築。保存修理工事に伴い、LED照明を採用して環境に配慮するとともに、間接照明を使用したりに、設置場所を工夫したりして、建築当時の蝋燭の明かりに近づけたことが評価されました。町並・地域振興課の小野植正久課長は、「新旧の技術を駆使した修理。来館して新たな魅力を発見してほしい」と話しました。

### 応援ありがとうございます 24年度ふるさと寄付247万円

「内子ふるさと応援寄付金」として24年度も全国から15件・総額247万2000円の寄付が寄せられました。

この制度は、自分たちが選んだ自治体に税金を納めて地域を応援する「ふるさと納税制度」に基づき、20年度に設けら

れました。

寄付金は、内子町の美しい風景づくり、環境の整備、総合計画に掲げるプロジェクト10の推進など、より良いまちづくりのため活用されます。

【問い合わせ】  
総務課 政策調整班  
☎0893(44)6151

- 24年度寄付者
- ・上杉 誠一様 (兵庫県神戸市)
  - ・神本 雄司様 (奈良県大和郡山市)
  - ・本谷 隆志様 (奈良県奈良市)
  - ・水本 世紀様 (東京都目黒区)
  - ・尾崎 政美様 (東京都世田谷区)
  - ・尾崎さおり様 (東京都中央区)

- ・神本 謙治様 (埼玉県深谷市)
  - ・河内 正志様 (大阪府大阪市)
  - ・河内 浩平様(内子町)
  - ・西口 功様(松山市)
  - ・佃 克彦様 (愛知県名古屋市)
  - ・滝川 吉繁様(松前町)
- ※公表に同意を得られた人のみ、受付順に掲載しています。

### 行政相談業務の活動が認められ 四国行政評価支局長表彰受賞

8年にわたる行政相談委員としての活動が認められ、源田恒雄委員(76)が5月17日、総務省四国行政評価支局長表彰を受賞しました。また、和田親人委員(71)も上町にも愛媛行政評価事務所長感謝状が送られました。

行政相談委員は総務大臣から委嘱され、住民の相談相手として行政に対する苦情や要望を受け付けます。源田委員は「おかげさまで長い間、役目を務められています。交通関係、年金、医療など、何でも気軽に相談ください」と呼びかけています。



表彰状を手にする源田委員

### 「全国広報コンクール」 一枚写真部門で入選



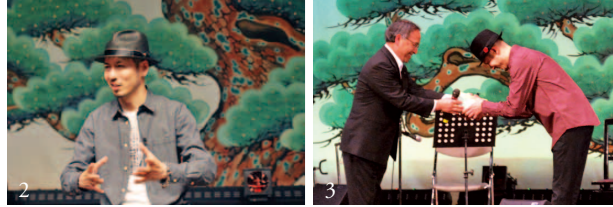
「2013全国広報コンクール」(全国広報協会)

会主催、石原信雄(のぶお)会長の入賞作が発表され、広報うちこ24年2月1日号表紙が広報写真(一枚写真部門)で入選に輝きました。

同コンクールは各都道府県広報協会が推薦す

る広報誌やホームページなどを審査し表彰を行います。広報うちこは2月に愛媛県広報協会が発表した「愛媛県広報コンクール」で広報写真(一枚写真部門)と広報誌(町村部門)で特選を受賞し、県代表として推薦を受けていました。

### 内子の応援歌が完成 内子座でお披露目コンサート



うちのこころ 詞・曲・編曲 Sing-O

変わりゆく時代だからこそ 今まで見えなかったのが見えてくる  
忘れかけたことに気付く 受け継がれし古き良き故郷の産声  
祖父母が歩んできた石畳 しだれ桜 愛しき想い馳せた  
朝霧茜色に染まる 古風の町並包み照らして

ずっと変わらない温もり 繋いできた絆  
今だからこそ感じることを感じてみよう  
そっと心ゆく風 髪飾りひらり揺る  
色褪せぬまま見つめていこう 君と (一部抜粋)

1\_躍動感あふれる子どもたちの踊りにSing-Oさんも絶賛 2\_会場前のインタビューで応援歌の思いを語る 3\_稲本隆壽(たかし)町長から感謝の気持ちを含めて記念品が渡された

シンガーソングライターSing-Oさんの作詞・作曲による内子町の応援歌「うちのこころ」が完成し5月18日、内子座でお披露目コンサートが開かれました。

Sing-Oさんは第48回愛媛マラソンの挿入歌を担当。2年前から内子町駅伝競走大会にも参加するなど、町との交流を深めています。その中で、「内子町に何か恩返しをしたい」と、応援歌の制作を提案。高校生

から寄せられた手紙の言葉を歌詞に用いるなど、「歌詞を書いたというよりも、温かい言葉をまとめただけ。メロデーも自然と優しいものが浮かんだ」と、内子町の風景や人の温かさを表す曲に仕上げました。

コンサート会場で初めて曲を聴いたという宮瀬貴久(たかひさ)さんは、「ゆつくりとした曲調とそっと背中を押すように励ます歌詞が内子らしい。新しさも感じられ心地良い曲」と

感想を話しました。また町内で活動するダンススクールから選ばれた子どもや若者24人も舞台上がり、元気なダンスで会場を盛り上げていました。